

令和3年2月9日【火曜日】

ニセコ高・麗澤大・枝幸高

距離の壁超え理解

地域特性や取組を交流

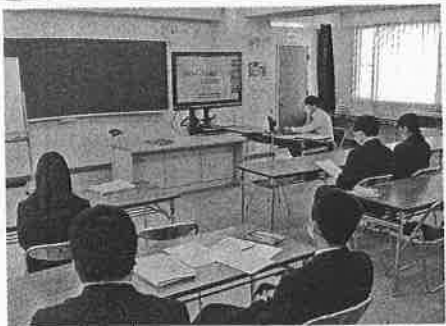
【小樽発】ニセコ高校(清水美由紀校長)は1月下旬、千葉県の麗澤大学および枝幸高校(深澤健校長)とオンラインによる学校間交流学習を行った。ニセコ高からは2年観光リゾートコースの生徒7人が参加。

距離の壁を超えた交流を通して、それぞれの地域特性や学校での取組に関する理解を深めた。

観光を学ぶ高校生・大学生がオンラインで集い、日ごろの学習や研究内容について相互に共有することで、自分たちの学びを振り返り、今後の観光にかかわる学習活動の活性化を図ることが目的。当初、沖縄県立八重山商工高校も交えた

4校の参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症に伴う休業によって、同校を除く3校での実施となった。

はじめに、ニセコ高が町の概要と高校について発表。ホスピタリティの重要性を学ぶホテルサービス実習をはじめ、実践的な英語



学習などグローバル社会で活躍できる人材育成に向けた教育活動を展開していることを伝えた。

枝幸高は、自然あふれる町の様子や、学校における地元探究学習の取組について説明。このほか、オホーツクコミュニケーションえさしによる紹介動画を上映した。

麗澤大の学生の一人からは、ニセコ高に対し「ホテル実習や英会話力を高める実践など、いろいろなことに取り組んでいて楽しそう」との感想が寄せられた。

枝幸高の生徒の一人は、「観光面で国際的な人気があるニセコの実際を知ることができてよかった」と話していた。

学校で学んでいることを紹介し合った